

事業実績（視察）報告

1. 視察の概要

- (1)目的 第18回全国市議会議長会
研究フォーラムin北九州参加
- (2)日時 令和5年10月25日・26日
- (3)場所 西日本総合展示場新館1階
- (4)参加者 中村 眞一



2. 主な内容

1日目

- 主催者挨拶 全国市議会訪 恭寿
- 開催市挨拶 北九州市議会議長 田仲 常郎
- 来賓挨拶 北九州市長 武内 和久

第1部

- 基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」
片山善博 大正大学教授兼地域構想研究所長

第2部

- パネルディスカッション ～統一地方選挙の検証と地方議会の課題～
コーディネーター 谷 隆徳 日本経済新聞編集委員
- パネリスト 勢一 智子 西南学院大学法学部教授
- 〃 辻 陽 近畿大学法学部教授
- 〃 濱田 真理 Stand by Women代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表
- 〃 田仲 常郎 北九州市議会議長

- 次期開催市挨拶 第19回全国市議会議長会研究フォーラム開催地
令和6年10月9日・10日
盛岡市 岩手県民会館(トーサイクラシックホール岩手)

2日目

- 第3部 課題討議 「議員のなり手不足問題への取組報告」
コーディネーター 江藤 俊昭 大正大学共生学部公共政策学科教授
- 事例報告者 たぞえ麻友 一般社団法人 WOMAN SHIFT理事-目黒区議会議員
永野慶一郎 枕崎市議会議長

3. 所見・西尾市政への反映に向けた課題

基調講演は片山善博氏による「躍動的でワクワクする市議会に」をテーマにした講演。鳥取県知事時代の話を中心に「地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革の検証」などについて話されました。

・市民説明会は回を重ねるごとに、尻すぼみになっていく。これは、住民目線で開催することを考えなければならないと思いました。

●今後の議会は議場で本気の議論が必要であり、執行部も議員も市民

の声をよく聴いて望まなければならない。「議会が市民の代表機関として、地域における民主主義の発展と福祉向上のために果たすべき役割は、将来にかけてますます大きくなる。特に地方分権の時代を迎えて、自治体の自主的な決定と責任の範囲が拡大した今日、議会はその持つ権能を十分に駆使して、自治体事務の立案、決定、執行、評価における論点、争点を広く市民に明らかにする責務を有していることを自覚しなければならない。自由かつ達な討議をとおして、これら論点、争点を発見、公開することは討論の場である議会使命であり、それをしなければならない。

●執行部の提案を鵜呑みにしてはいけない。うまく説明するので、議員はそれを見抜かなければならない。・問題のある事柄を審議する場合は、当事者に郷帳させるとよい。

●アンケートは市にやらせず、議会としてやるほうが良い。

従って、議会は無駄な予算を見き分けなければならない。財源の確保においても、状況により税率を変更すればよい。それをするのが議会の役割であり、議員に課せられた責任だということを感じました。

後半のパネルディスカッションでは「地方議会の課題」では「議員のなり手不足問題」「地方議員に対するハラスメント」など様々な課題が取り上げられました。・無投票だと有権者が立候補者を選別する機会が失われる。立候補者全員が当選するのだから、議員の「品質管理」は何もなされず、議会の劣化は避けられそうにない。・議会の在り方や議員報酬などの重要な課題については、住民を巻き込んだ議論が必要だが、議会の活動に無関心な住民が多い。

地方議会が本来果たすべき役割を果たしていないことも、議会改革に取り組まなければならない理由として当然あげられる。

自治体の首長も権力であり、ほっておくと専制や独裁、あるいは汚職などに限定されるものでなく、予算の無駄遣い、非効率や不公正な行政、職員の無気力、組織の停滞など、広く住民や納税者から見て好ましくない状態を意味すると思われるが、当市において無投票という状況は現時点ではないと思われるが、今後の課題として考えなければならない。市民の目は、議員の会議中の居眠りやハラスメント、粗末な視察の実態などが指摘されており、議員への住民の信頼が低下している中で考えなければならないことは、・議会の位置付け、権限の明確化・議員の職務等の・意見書の活用、二代表制の均衡・議会の権能の強化、議決対象基準の条例



の強化、立候補環境の改善・選挙制度の見直し・休暇・休職・復職制度の整備・請負禁止の緩和・議員報酬の引上げ支援、議員定数の見直しなど、多様な課題、多様なニーズなど新たな現在社会における地方議会としての存在意義、使命、責任などを再確認し、議会活動をしなければならないと感じました。



収支報告

項目	支出金額	備考
調査研究費	52,240 円	旅費 52,240 円 手土産代 円
資料作成費	円	
資料購入費	円	
事務費	9440 円	参加費 9,000 円 振込手数料 440 円
計	61,680 円	